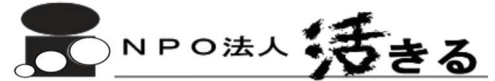




2026年 令和8年 5月 1日 第30号
障害者の社会参加、自立・就労支援



〒302-0022 取手市本郷5-4-21
TEL/FAX 0297-73-8361
(平日 10:00~15:00)
ikiru7228@gmail.com
http://npokiru.stars.ne.jp/

ごあいさつ

理事長 染野 和成

私は電動車椅子を運転することが大好きなおじいさんです。もちろん、身体障害がある自分にとって移動できる足であり、時には物を運ぶ手にもなるこの車椅子。しかし、たかがジョイスティック 1本を握り、前後左右に動かし、意のままに行きたいところに自分で行けるただの道具?ではなく、自分が動くための、自分がやりたいことを、思うことも、時には夢をも運んでくれる乗り物にもなる。

電動車椅子を見かけてか丸2年。23歳当時。自分は障害者施設に入所しており、そのころの障害年金では購入出来る訳もなく、帰省した折、亡き父に相談、資金を出してくれた。23歳の春に初の電動車椅子を手に入れることになる。



それからは電動車椅子を操ることに夢中になり、そのうちにより遠くに行くようになり、バッテリーが消耗すればただの重い車椅子なのに、覚悟して隣町に住む友人の所へ充電器を携えて1日がかりの走行を楽しむようになる。

電動車椅子を操るワクワク感、期待感、夢はますます大きくなるばかり。

操縦をはじめ5年目、24時間一人耐久走行を計画。1組のバッテリーでは何km走行可能から初め、介護のボランティアさんは何人必要で、休憩地点、更には食料は――。大事なバッテリーは電動車椅子乗りの友人のを無理やり借用。80km先の実家をめざし、台風の強い雨の中をスタートしたっけ。きつかったけど良い経験になった。楽しかった。

この先、北海道800km走行、そして、しまなみ海道走破と続くのですが、そろそろ暴走(笑)を止めなくてはなりませんね。いつかまた何処かで。(染野 記)

ご存知ですか？

健康保険で在宅マッサージが受けられます！

お問い合わせ、ご相談などお気軽にご連絡ください。

オリエンタル治療院

〒301-0041 茨城県龍ヶ崎市若柴町 2183-9 TEL 0297-65-0985 FAX 0297-65-3323

ペDESTリアンデッキ

令和7年4月11日

取手駅西口開発の一環でペDESTリアンデッキに設置する点字ブロックの配置について市役所から意見を求められました。

最近、バリアフリーに関する意見を市側から求められることが多くなりました。当事者の意見を取り入れていただけるのはありがたいことだし、できる限りの協力は惜しみません。

NPO法人活きるは肢体不自由者の団体で点字ブロックに有効な意見を提供できるかいまいちでしたが、あいサポート運動で学んだ想像力を駆使して思い当たったことは言いました。特に点字ブロックの誘導先に何かあるかをわかるようにしたら安心だと思いました。どのように示したらよいかは難しいですが音声だと色んな方に理解できると思いました。



(宮脇 記)

バーベキュー大会

令和7年 5月11日



総勢16人でオープンでBBQを開催したのはコロナ禍以降初めてです。もちろん久しぶりの方も多く、初めての方も。遠くは横浜、日立からの参加！！みんな久しぶりの気楽な飲み会で大騒ぎでした。積もり積も

った話がいっぱいできて、とてもいい時間を過ごせました。こんな、集まりの大切さを痛感しました！！

運転者講習会

令和7年6月21・22日

【1日目】

令和7年度春の国交省認定移送サービス運転者講習会の1日目です。今年も宮脇が「移動サービス概論」「移動サービスに必要な運転知識と理解」「利用者理解」「セダン車講習」の4コマを受け持ちました。今年の受講者は16人と盛況です。若い方もいて、期待しています。

「移動サービス概論」は移動サービスとはなんぞやと基本的なサービスの目的とシステムを聞いてもらいました。

「移動サービスに必要な運転知識と理解」は体がご不自由な利用者に快適な移動を提供するための運転技術や配慮についてお話ししました。

「利用者理解」は毎度、宮脇の得意分野なので、中身の濃い講義をしたつもりです。障害の種類別の特徴や配慮の仕方をエピソードを多く交えて話しました。活動経験が長く、当事者の友達も多いので引き出しは豊富だと思っています。

最後の「セダン車講習」他の講義と重複するところが多く、セダン車特有の注意事項とだけ短く終わらせました。まる1日4コマの講義はさすがに疲れます。



【2日目】

講習の2日目は実技につながる内容です。午前中は接遇と介助ということで利用者さんと接しかたと介助技術の講義の後、午後の実技チェックのための予習です。

午後は2班に分かれて。一方は福祉車両に実際に接して取り扱い方法や注意事項を学びました。もう一方は介助技術と公道に出て運転実技のチェックを受けました。

16名全員が無事に合格して修了証を授与されました。みなさん、どこかの移動サービス団体に登録して移動困難者のために貢献してほしいと思います。



夏休みこどもボランティア講座

8月24日

とりで障害者協働支援ネットワーク主催の夏休みボランティア講座が開催されました。

今回は小学4年生～6年生の子ども達を対象に、取手市が計画しているあいサポートキッズ研修のテストケースでの開催です。6人の子どもたちが参加してくれました。最初は緊張しているのか言葉が少なかったですが、すぐにみんな仲良しになり積極的に言葉が出るようになりました。



まず視覚、聴覚、肢体不自由の障害を動画で見た後にそれぞれの不自由さ体験してもらいました。

みんな騒ぎながら楽しみながら体験してくれました。その後、ユニバーサルデザインの意味や実際、そして、昼食を摂った後の午後はユニバーサルスポーツの体験。今回はボッチャと卓球バレーを楽しんでももらいました。

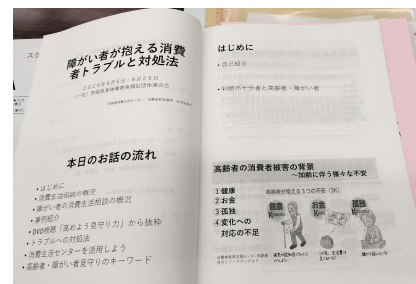
講座のすべてを終えて感想を書いてもらい、また意見を聞きました。想像していた以上に障害に興味を持ってきて講座の主旨である困っている人を見たら声をかけてお手伝いをするという意見をみんな書かれました。皆さん、とても素直に反応してくれて、子どもの中に経験・体験する重要性を感じました。



相談員研修

9月26日

取手市では身体障害者福祉法の規定により身体障害者相談員が設置し、身体に障害のある者の福祉の増進を図るため、相談に応じるとともに、更生のために必要な援助を行うことを目的とする。市は障害者の福祉増進に熱意を有し、奉仕的に活動することができ、かつ、地域の実情に精通している者を身体障害者相談員として委嘱するとしている。



一昨年度から宮脇が委嘱され、定期的に研修を受けなければいけない。今年度は9月26日セキショウ・ウェルビーイング福祉会館で開催されました。今年の研修は「障害者が抱える消費者トラブル」について講和がありました。被害の背景にある社会環境の変化や特徴・事例などを話され、被害にあわないための対処法を教えてください勉強になりました。



勝山君の活動

●全国障害者スポーツ大会

10月の12日(日)に滋賀県で開催された全国障害者スポーツ大会、卓球バレーオープン競技に茨城県代表で茨城卓球バレー愛好会が参加してきました。前日から会場の近くのホテルに宿泊しました。僕は茨城、兵庫、栃木と今回の滋賀で4回目の全国大会でした。家を出る時からワクワクドキドキしました。行きは東京駅で集合し新幹線に乗り滋賀に向かいました。滋賀県の最寄りの栗東駅に着き、福祉タクシーで最寄りのホテルまで向かいました。

大会当日は、朝8時にホテルを出て、会場の栗東市民体育館に向かいました。会場に着くとみんな緊張していましたが、東日本エリアの埼玉や岩手など知り合いのチームも多く、みんなで話しながら緊張をほぐしました。

試合が始まると緊張などで練習のようにチーム全員がうまくいかず、予選結果は1勝1敗1引き分けで残念ながら決勝トーナメントに参加できませんでした。

悔しい気持ちはありますが、全国大会に参加できて、プレーだけではなく、チームメンバーやたくさんの参加者の方と交流ができて良かったです。



●茨城県卓球バレー大会

11月22日(土)にひたちなか市総合運動公園で茨城県卓球バレー大会が開催されました。僕も参加しました。会場に着くと、知り合いのチームや関係者が多く、緊張がほぐれました。大会はチャレンジクラス6チーム、イバラッキークラス5チームの総当たり形式でした。僕は久しぶりに選手宣誓をしました。ちょっと緊張しました。

試合は午前3試合、午後2試合でした。みんなリラックスしてプレーしていたと思います。試合が終わるたびにチームで意見交換をしていたこともありリードされていた試合も逆転して勝つことができました。最後は愛好会では初優勝することができました。みんな優勝が決まった瞬間、涙と笑顔で、あふれました。僕は改めて感じました。仲間の大切さ、卓球バレー愛好会を応援していただいている



皆さんに感謝申し上げます。

(勝山記)

感謝状贈呈式

11月20日

取手市では移送サービスで取手市の移動困難者の外出支援活動に貢献しているボランティアさんに感謝状を贈呈しています。

昨日、その贈呈式が恭しく開催されました。取手市長から今回の対象者の皆さんの活動に対して賞賛と感謝のお言葉がありました。その後、一人一人に市長から感謝状を手渡されました。

NPO法人活きるからは鳴海さんと生方さんのお二人が受賞の対象となりました。

式を終えて市長を囲んで記念写真で締めくくられました。



移送サービス報告

活きるの移送サービスは活動状況に変化はなく、相変わらずボランティア不足で予約をお断りすることが多くなっています。特に車いすユーザー対応の福祉車両の提供ドライバーが少なくてご迷惑をかけることが増えて心を痛めています。現在の利用登録数は216人で、まだ新規登録は中断中です。利用希望の電話は絶えないのですが、事情をお話ししてお断りしている状況です。

取手市も高齢化が進んでいて、福祉利用（介護保険、障害認定者）以外にも高齢による長距離歩行困難でバス停まで行くことができないという方が多くいて、取手だけでなく全国的でも深刻な状況です。NPO法人活きるでは市の移動担当部署にいろいろ提案して新たな移動環境の整備を熱望しているところです。

運行状況報告書

団体名（特定非営利活動法人活きる）

対象月	実利用者数 (人)	実運転者数 (人)	延べ送迎回数 (回)	送迎料金(円)
令和7年4月	129	16	552	503,800
5月	131	15	539	485,100
6月	134	16	578	527,100
7月	123	17	583	522,300
8月	114	17	501	466,000
9月	126	16	514	496,000
10月	122	17	557	504,100
11月	115	16	489	470,200
12月	134	16	620	570,900
1月	107	15	409	378,900
2月	111	15	459	421,700
3月	114	16	528	486,200
合計			6329	5,832,300

一般避難所における障害者への対応

12月17日・



市の職員さんたちを対象に一般避難所において障害者の対応についてお話ししました。特に受付の際が一番混乱するので、以前おこなった訓練の状況をお伝えしました。障害者対応に慣れていない職員に応用や配慮を期待できないのでマニュアルを作成し、関わる職員さんに理解してもらうことが大事だと思っています。素案を作り訓練を重ねて問題点を整理して作成する。それもできるだけ早く。作成に当たっては協力を惜しまないし、当事者の協力も問題ありません。我々が作った「障害者のための防災マニュアル」は、災害時の障害者への配慮のバイブルだと思っています、その内容を理解すれば応用が効きます。また、車椅子障害者は災害の際に移動が困難で福祉車両の必要性を訴え、市で何台かの福祉車両の所有提供をお願いしました。

「あわい」の紹介

皆さん、こんにちは！会員の岸です。

新年会やBBQに楽しく参加させていただいております！

なかなか皆さまと一緒に活動することがないのですが、陰ながらその活動を応援しております。何かお役に立てることあれば、今後、皆さん！申しつけてください！



話変わりますが、地域のご高齢の方の情報誌「あわい」を仲間と一緒に作っております。NPO活きるの会員の皆様にもその情報誌がお役に立てば幸いです。

情報誌「あわい」は、医療、介護、福祉、生活に伴う情報を載せております。今後、介護が必要になってくる方、独居で頼れる家族が居ない方、認知症の家族を支えている家族、高齢者施設に入所したいけどどんな施設があるか分からない方、そんな方々やその家族の皆さまに教えてあげ

たい気持ちで情報誌を作成しています。時々、理事長もぷらっと載っています！2026年は4月号、7月号、10月号を作成予定です。楽しみにしててください。

(YORIAI 岸)

令和8年 新年会

1月20日

年に一度、会員さんたちが一堂に会する機会が新年会です。今年は27の方が集まりました。当初参加予定の4名が体調不良などで急遽欠席でした。会場はいつもの取手駅東口の伊太利庵ポーノさんです。この人数で車いすの方が入れるお店はここしか知りません。



さて、開始時間の12時には勢ぞろいです。なかなか壮観です。理事長の新年の挨拶から始まり、移送サービスリーダーの乾杯の音頭で宴が始まりました。普段、なかなか会えない方たちどうしのおしゃべりが弾み、とても賑やかです。年にたった一度ですがとても大切な交流の機会です。

安心安全サポーター交流会

2月28日

プライバシー設定: あなたの友達

今日は JCOM 茨城主催の安心安全サポーター交流会があり、満理子と参加してきました。

安心安全サポーターとは地域の防災・災害情報を JCOM に情報提供する方たちで18人のメンバーがいて、僕もその一人です。今日はそのうちの10人が土浦の本社に集まり各地の活動報告して情報共有をしました。



皆さん本来の活動（自治会や民生委員、地域活動）をしながらすごく中身の濃い活動報告がありすごいなあと素直に感じました。

僕はネットワークで継続している災害時の障害者の対応についてマニュアル

を元

に話しました。

障害弱者の対応について興味を持ってもらえたと思います。

8

障害者・児支援ボランティア講座

3月12日



恒例の障害者・児ボランティア講座が今日ありました。

身体障害者（肢体不自由者）はいつも宮脇が担当し宮脇満理子も参加します。

今年の受講者は5名で現役で障害者の在宅支援されている方が一人いました。他の方は障害者支援に興味があって理解を深めるために来られました。

いつも通り満理子の発症がきっかけで障害者に関わるようになったお話から、生きるの活動説明の後、具体的に障害者ボランティアをやるにはどんな意識を持って接したら障害者の期待に添えるかをお話ししました。

あくまでも宮脇の経験から得られたものなので、正解かどうか分かりませんが、少しでもお役に立てば嬉しいです。

楽ちん介護

3月16日

初夏のよそおいを感じるこの頃、9人もの受講者が来られました。久しぶりの盛況です。在宅介護の方がいないのも珍しいことです。現役の方が5名、勉強のためが4人。そのうちの一人は歯科クリニックのスタッフで患者さんに高齢の方が増えて介助する場面が増えたそうで、とても志が高いと思いました。



●福祉行政に参加●

※取手市：自立支援協議会、あいサポート運動、移送サービス運営協議会、地域支え合いづくり推進協議会、市公募補助金検討委員、福祉まつり実行委員会、身体障害者相談員

※社会福祉協議会：理事、社協強化計画策定委員、社協ボランティア運営協議会、赤い羽根配分委員、社協だより編集委員、各種講座講師派遣

バリアフリー探検隊

12月6日

障害者週間初日の午前中は、毎年、とりで障害者協働支援ネットワーク主催のバリアフリー探検隊です。

市内各所のバリアフリー状況を確認し、問題のありそうな箇所は市へ提言します。

今年は取手駅西口が都市計画で大きな改修をされたので、その結果の探索にしました。あらかじめNPO法人活きるには助言を依頼されたので、その結果が反映されているかの確認でもあります。

交流センターに参加者が集まり、挨拶と今日の計画と主旨、そして車椅子の介助について安全のための3つの指示を出しました。その後、寺原駅まで車いす体験を交えて行進。常総線に乗って取手駅まで行きました。常総線取手駅ではエレベーターがないので車椅子ユーザーは特殊エスカレーターで改札階に行きます。一般の人はあまり見たことがない光景なので興味を持たれたことでしょう。

駅西口のペDESTリアンデッキに集まり、先ずは赤い羽根募金のPRも兼ねて集合写真です。その後、エレベーターで地上に降り大きな改修部分を皆さんに見てもらいました。以前は大きな傾斜があり車椅子ユーザーは怖い思いをしましたが、大きな改善が見られました。短い時間の探索でしたが、後ほど参加者にはアンケートを提出していただき、必要に応じて市へ提言します。



編集後記

活きるの活動は多岐にわたり、活動内容を多くの方々に分かりやすくお伝えするために、年に一度悪戦苦闘しています。今回も掲載内容が多く、納期が短い注文でしたがなんとか応じることができました。

編集担当 鈴木 澄利

活動会員・賛助会員を募集しています

一緒に NPO 法人活きるの活動に参加してみませんか
皆様のご参加をお待ちしています。

活動会員 個人・年会費 2,000円

団体・年会費 3,000円

賛助会員 個人・年会費 1口1,000円 1口以上

団体・年会費 1口2,000円 1口以上

(活動・賛助会員の総会議決権はありません)

振込先

・郵便振替 00190-7-778948

・口座名義 「特定非営利活動法人活きる」

2026年 令和8年 5月 1日発行

発行所 NPO 法人 活きる

発行者 染野 和成

編集者 鈴木 澄利

連絡 〒302-0022 取手市本郷5-4-21

TEL/FAX 0297-73-8361

ikiru7228@gmail.com

<http://npoikiru.stars.ne.jp/>

<https://www.facebook.com/npoic>

<http://npoikiru.stars.ne.jp/>